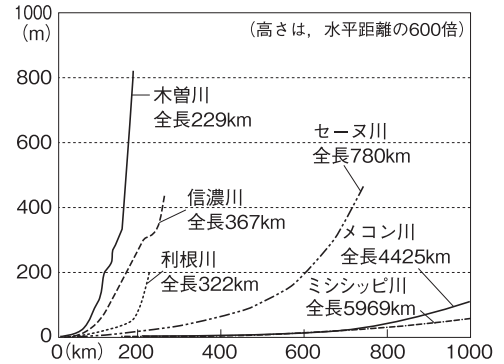
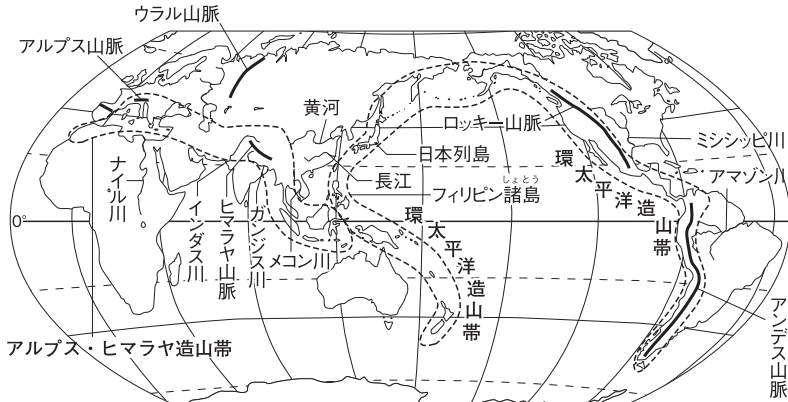


第3講座 世界からみた日本



▲日本と世界のおもな川の傾斜

▲世界の地形

1 世界からみた日本の自然環境

(1) 世界の地形

- ① 活動的な地域…環太平洋造山帯とアルプス・ヒマラヤ造山帯では山脈が連なり、火山や地震の震源が帯状に分布する。
- ② 安定的な地域…風化や侵食でできた広い平野が分布する安定大陸。地震や火山は少ない。

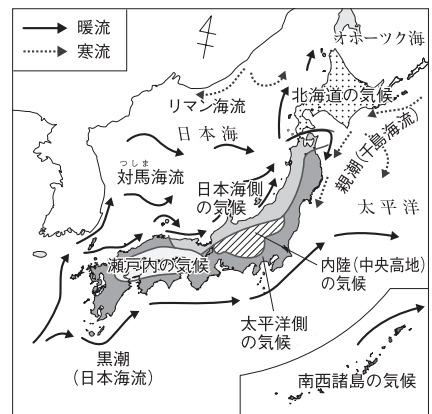
(2) 日本の地形

- ① 山地…国土の約4分の3が山地。中部日本に日本アルプスがそびえ、その東に日本の地形を東西に分けるフォッサマグナがある。
- ② 平地…海に面した平野と山地に囲まれた内陸の盆地がある。地盤が隆起すると台地がつくられる。
- ③ 川…日本の川は急流で流域面積がせまい。川が山地から平地に出たところには扇状地、川が海に流れこむところには三角州ができる。
- ④ 海…水深8000mをこえる海溝と、水深200mまでの平坦な大陸棚。リアス海岸や砂浜海岸が見られる。東日本の太平洋沖に暖流の黒潮(日本海流)と寒流の親潮(千島海流)がぶつかる潮目(潮境)。

- (3) 世界の気候…熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯(亜寒帯)・寒帯。
- (4) 日本の気候…大部分は温帯。梅雨・台風による降水が多い。季節風(モンスーン)の影響が強い。
- (5) 自然災害…火山の噴火による火砕流、地震による津波、台風による洪水や高潮→ハザードマップ(防災マップ)の作成。低温による冷害。から梅雨などによる干害(干ばつ)。

気候	区分
熱帯	熱帯雨林の広がる熱帯雨林気候は、1年を通じて雨が多く気温が高い。
	熱帯雨林気候の南北には、乾季と雨季の違いが明確なサバナ気候が広がる。
乾燥帯	砂漠気候は暑くて降水量がきわめて少ない。
	ステップ気候はわずかに雨が降り丈の低い草が生える。
温帯	温暖(温帯)湿潤気候は季節風の影響で雨が多い。
	西岸海洋性気候は1年を通して偏西風の影響を受ける。
	地中海性気候は夏に乾燥し冬に雨が多い。
冷帯(亜寒帯)	冬は長く寒さがきびしい。夏は短い。タイガとよばれる針葉樹林帯が広がる。
寒帯	1年中寒さがきびしく、雪と氷におおわれた氷雪気候。
	ツンドラ気候は夏に地表の水がとけ、こけ類が生える。

▲世界の気候区分

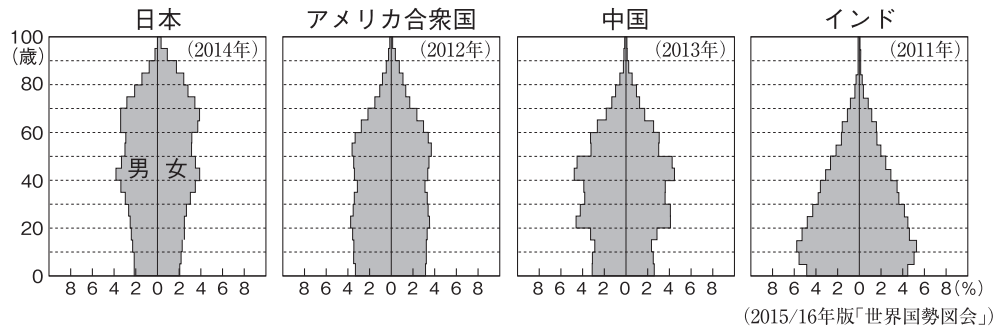


▲日本の気候区分と近海の海流

2 世界からみた日本の人口

- (1) 世界の人口…約73億人でアジア州が約6割をしめる。出生率が高い発展途上国では人口爆発の状態。日本などの先進国では死亡率とともに出生率も低くなり、少子高齢化が進む。
- (2) 人口密度…東アジア・南アジア・ヨーロッパ・北アメリカ東部などで高く、寒帯や乾燥帯で低い。

人口	面積
73.5億人	1.4億km ²
オセアニア 5.7	南アメリカ 6.3
ヨーロッパ 7.8	南アメリカ 13.1
アフリカ 10.0	ヨーロッパ 16.9
北アメリカ 16.1	北アメリカ 18.0
アジア 59.8%	アフリカ 22.2
	アジア 23.4%



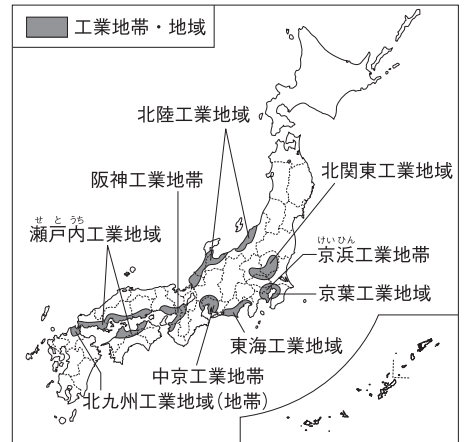
▲おもな国の人口ピラミッド

▲地域別の人口・面積 (2015/16年版「世界国勢図会」)

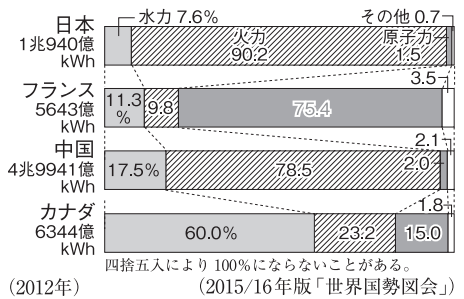
(3) 日本の人口…人口ピラミッドは富士山型からつぼ型へ変化。東京・大阪・名古屋の三大都市圏では過密が進み、都心の人口が減少し郊外へ移るドーナツ化現象がおこった。過疎が進む山間部や離島では町おこし(村おこし)の努力。

3 世界からみた日本の資源・産業

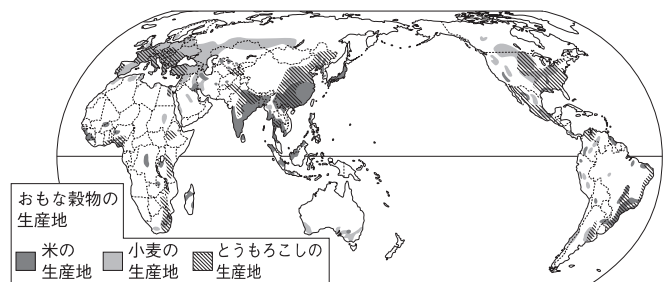
- (1) 鉱産資源…石油の分布はペルシア湾などにかたよっている。日本は石油・石炭などの化石燃料、鉄鉱石・銅などの金属資源の大部分を輸入にたよっている。
- (2) エネルギー…火力・水力・原子力が中心。風力・太陽光・地熱などの再生可能エネルギーの開発が進められている。
- (3) 日本の工業地域…太平洋ベルトを中心に鉄鋼・石油化学など臨海型の工業地域を形成。高速道路や空港の整備により内陸に工業団地。
- (4) 日本の工業の変化…第二次産業。製品の輸入が増えたため、原料を輸入して工業製品を輸出する加工貿易の特色は薄れた。工場の海外移転が進み、産業の空洞化が問題となっている。
- (5) 農林水産業…第一次産業。食料自給率の低下が問題。東北地方・北陸などで稲作。大都市の周辺で近郊農業。西南日本で促成栽培。内陸の高原で抑制栽培。外国産木材におされる林業。とる漁業から育てる漁業(養殖業・栽培漁業)へ転換。
- (6) 第三次産業…就業者は商業(卸売業・小売業)などで減り、サービス業(金融・情報・医療・福祉)が増加。



▲日本の工業地帯・工業地域



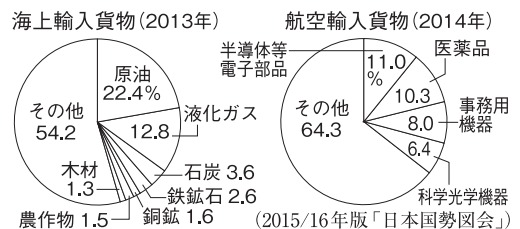
▲おもな国の発電エネルギーの割合



▲おもな穀物の生産地

4 世界からみた日本の結びつき

- (1) 交通…交通機関の高速化・大型化で目的地までの時間距離が短縮。海上輸送は鉱産資源や自動車などの輸送、航空輸送は電子機器・魚介類・生花などの輸送に適している。日本では高速道路の整備により、貨物の自動車輸送の割合が高まる。
- (2) 通信…通信衛星や海底ケーブルが整備され、国際電話やインターネットが普及。日本では携帯電話やパソコンが普及し、人々の生活の向上に役立っている。



▲日本の海上輸送・航空輸送の輸入金額割合

1 世界からみた日本の自然環境 次の問いに答えなさい。

- (1) 地震の震源や火山、高く険しい山脈が帯のように連なる地域を何というか。〔 〕
- (2) 日本アルプスの東にのびる、日本の地形を東西に分ける帯状の地域を何というか。〔 〕
- (3) 山地に囲まれた内陸の平地を何というか。〔 〕
- (4) 川が山地から平地に出たところに土砂が積もってできる傾斜地を何というか。〔 〕
- (5) 川が海に流れこむところに土砂が積もってできる平坦な地形を何というか。〔 〕
- (6) 日本近海に広がる、水深200mまでの平坦な海底地形を何というか。〔 〕
- (7) 日本の太平洋側を北へ流れる暖流を何というか。〔 〕
- (8) 日本の大部分がふくまれる、温帯の気候区を何というか。〔 〕
- (9) 夏から秋にかけて日本を通過し、大雨や強風をもたらす熱帯低気圧を何というか。〔 〕
- (10) 海底を震源とする地震で発生し、沿岸部に襲来する大きな波を何というか。〔 〕

2 世界からみた日本の人口 次の文中の〔 〕から正しい語句を選んで答えなさい。

- (1) 最も人口が多い地域は〔アジア ヨーロッパ〕で、世界の約6割をしめている。〔 〕
- (2) 出生率が高い発展途上国では〔過疎 人口爆発〕の状態となっている。〔 〕
- (3) 出生率が低下する先進国では〔少子高齢化 人口爆発〕が進んでいる。〔 〕
- (4) 国・地域の人口を面積で割ったものを〔人口増加率 人口密度〕という。〔 〕
- (5) 東京・〔福岡 大阪〕・名古屋のそれぞれを中心とする大都市圏を三大都市圏とよぶ。〔 〕
- (6) 山間部や離島では、人口が著しく減少して社会が活気を失う〔過密 過疎〕が問題となっている。〔 〕

3 世界からみた日本の資源・産業 次の文中の□□にあてはまる語句や数字を答えなさい。

- (1) 石油・石炭などの化石燃料は再利用できず、二酸化炭素の発生により地球□□の原因ともなる。〔 〕
- (2) 山がちな日本では、山地のダムの水を利用した□□発電が行われている。〔 〕
- (3) 風力・太陽光・地熱などの□□エネルギーの開発が進められている。〔 〕
- (4) □□ベルトには、鉄鋼・石油化学など臨海型の工業地域が発達している。〔 〕
- (5) かつての日本は、原料を輸入して工業製品を輸出する□□貿易を行っていた。〔 〕
- (6) 大都市郊外では、野菜を収穫したその朝に市場へ出荷する□□が行われている。〔 〕
- (7) 魚介類を、網を張った海や池で大きくなるまで育てる漁業を□□という。〔 〕
- (8) 工業や建設業は第□□次産業に分類される。〔 〕

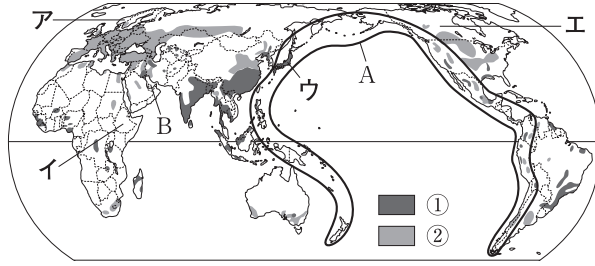
4 世界からみた日本の結びつき 次の文中の〔 〕から正しい語句を選んで答えなさい。

- (1) 鉱産資源や自動車の輸送に適しているのは〔海上輸送 航空輸送〕である。〔 〕
- (2) 電子機器・魚介類・生花の輸送に適しているのは〔海上輸送 航空輸送〕である。〔 〕
- (3) 日本では高速道路の整備によって〔鉄道 自動車〕輸送の割合が高まってきた。〔 〕
- (4) 大陸間の海底には、〔通信衛星 海底ケーブル〕が敷設されている。〔 〕
- (5) 〔インターネット 電報〕の普及により、情報を簡単に入手できるようになった。〔 〕

練習問題

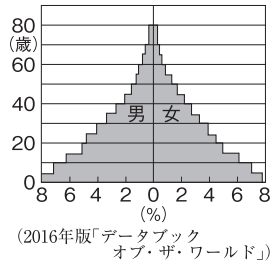
1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- 日本列島がふくまれる地図中のAの造山帯を何というか。
- 地図中のBで示したペルシア湾沿岸で多く産出されている鉱産資源を、次から選び、記号で答えなさい。



- ア 銅 イ 鉄鉱石 ウ 石炭 エ 石油
- 地図中の①・②の地域で栽培されている農産物を、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 米 イ だいず ウ カカオ エ 小麦 オ 綿花
- 右の人口ピラミッドは、どの国の人口構成を示したものか。地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。
 - 地図中のアの国からウの国へ高価な魚介類を輸出する場合、最も適している輸送機関を、次の〔 〕から選んで答えなさい。



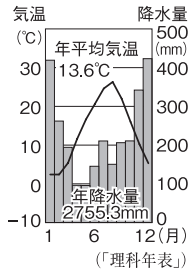
〔 鉄道 船舶 航空機 〕

1

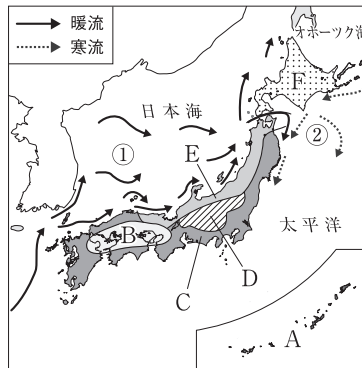
(1)	
(2)	
(3)	①
(4)	②
(5)	

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- 右の雨温図で特徴を示した気候区を、地図中のA～Fから選び、記号で答えなさい。



- 地図中のBの気候区でおきやすい、降水量が不足して農産物の生育が悪くなる自然災害を何というか。



- 地図中のF以外の気候区で5～7月に訪れる、雨の多い時期を何というか。
- 自然現象を調べて気象予報や警報を出す業種は、第一次産業、第二次産業、第三次産業のうちどの産業にふくまれるか。
- 太平洋ベルトがおもに分布する地図中の地域の正しい組み合わせを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア B・C イ B・F ウ C・D・E エ E・F

- 地図中の①・②の海流の名をそれぞれ答えなさい。
- 地図中のDの気候区で、高原の涼しい気候を利用して栽培される農作物を、次から選び、記号で答えなさい。

ア ピーマン イ トマト ウ みかん エ レタス

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	①
(7)	②